

令和4年度松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会  
第2回会議議事録

会議名称	令和4年度松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 第2回会議
開催日時	令和4年11月22日（火） 午後3時30分から午後4時20分
出席者	<p><b>【審議会委員】</b>（敬称略）            松伏町商工会会長（審議会会長）：小島 朗            大正大学地域構想研究所事務部部长：佐藤 和彦            埼玉りそな銀行越谷支店支店長：森久保 晶彦            越谷公共職業安定所所長：赤羽 章            株式会社埼玉新聞社クロスメディア局局长：小林 義治            特定非営利活動法人親子サポートぽっぽ代表：大塚 節子</p> <p><b>【松伏町】</b>            庁内推進本部会議委員長（副町長）：鈴木 寛            庁内推進本部会議副委員長（企画財政課長）：立沢 昌秀            企画財政課主幹：小野澤 智昭            企画財政課主任：平良 敏行            企画財政課主任主事：渡邊 大輔</p>
欠席者	埼玉県東部地域振興センター所長（審議会副会長）：坂田 直人 公募委員：今井 新吉 公募委員：山崎 純佳
議題	1. 第2期松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和3年度進捗状況について 2. その他
議事録作成者	企画財政課総合政策担当 主任主事 渡邊 大輔
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・審議会委員名簿</li> <li>・資料1 第2期松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和3年度進捗状況について</li> <li>・資料2 第2期松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業実施状況一覧表</li> <li>・参考資料1 第2期松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略（概要版）</li> <li>・参考資料2 デジタル田園都市国家構想基本方針の全体像</li> </ul>

議 事

発言者	発言内容・決定事項
議題1 第2期松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和3年度進捗状況について	
事務局	<p>(会議資料に基づいて事務局から説明。)</p> <p>(1) 参考資料1 第2期松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略(概要版)を用いて概要を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略は「まちの魅力発信と町民満足度の向上」を基本理念と掲げ、4つの基本目標と「土地利用構想に関する重点施策」を設定し、目標達成を目指している。</li> </ul> <p>(2) 資料1 第2期松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和3年度進捗状況を用いて報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1ページ「1.評価の方法」について4つの基本目標には、11の施策が設定されており、11の施策には45の事業が設定されている。それに加えて、「土地利用構想に関する重点施策」の中の3事業を加えた48事業が設定されている。</li> </ul> <p>4つの基本目標に、5つの数値目標、11の施策の中に40のKPIが設定されている。</p> <p>本審議会では、この5つの数値目標と40のKPIの進捗について効果検証を行う。</p> <p>(3) 資料2ページ「2.進捗状況」について、4つの基本目標の達成状況を報告する。</p> <p>基本目標のうち、「1.生活の柱となる働く場の確保」と「2.町や人がつながる魅力づくり」と「4.生活利便性を高めるまちづくり」の項目については、実績を算定する資料が町民意識調査であり、調査を毎年行っていないため、令和2、3年度については検証不可となるが、今回、第6次総合振興計画の策定に合わせて、町民意識調査を実施し、報告できるタイミングとなるため、議題は令和3年度の進捗報告ではあるが、令和4年度の欄を追加して報告をする。</p> <p>また、基本目標「2.町や人がつながる魅力づくり」の2つの数値目標については、毎年調査を行っている「総務省の統計調査」と松伏町が実施する「町政等に関するアンケート調査」を基礎資料としているため、毎年度効果検証ができるものとなる。</p> <p>(4) 資料3ページ「3.事業ごとの進捗状況」について、各事業のKPIの「実施状況」と「効果」を報告する。</p> <p>(5) 資料2 第2期松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業実施状況一覧表を用いて報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この資料は資料1の3ページ「3.事業ごとの進捗状況」で報告した内容について、事業ごと詳細にまとめた表となる。全体数値を報告したため、事業を抜粋して報告する。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施状況が順調な事業について代表として「まつぶしベスト10発見事業」と「ICT教育推進事業」を報告する。</li> <li>・実施状況が順調でない事業について代表として、「音楽による多世代交流事業」と「転入子育て世代応援事業」を報告する。</li> </ul>
会長	事務局より説明があったが、意見・質問はあるか。
委員	<p>資料1の2ページ「2.進捗状況」の基本目標の達成状況について、基本目標「2.町や人がつながる魅力づくり」の数値目標「町内人口の純移動数」の当初数値がマイナス174人であったところが、令和3年度現在マイナス77人と回復傾向にある。評価は「未達」としているが、「一定の効果がある」など、「達成」・「未達」以外の表現方法を取り入れてはどうか。</p> <p>また、この改善傾向にある内容について、「移住者が増えている」のか、それとも「出生数が増えているのか」など、こういった分析がされているのか。</p>
会長	<p>事務局から回答をお願いします。</p> <p>ちなみに、令和4年度現在の数値は出ているのか。</p>
事務局	<p>令和4年度現在の数値は出していない。</p> <p>この数値目標の項目は転出入のみで判断する項目としており、令和3年度数値は「他市町村からの転入者」は812人「他市町村への転出者」は889人となっている。その差引きで算出している。</p>
委員	資料2の2ページにある「転入子育て応援事業」について今年度は何件か助成を見込んでいたとのことであったが、令和3年度の件数はなかったのか。備考欄を見ると令和3年度から開始となる事業と記載があるが、事業の周知などに時間がかかったのか等の理由はあるか。
事務局	担当課の話では、令和4年度から助成対象を拡大したため、相談件数及び助成件数の増加の要因ではないかと考えている。
委員	<p>町内人口を増やす取組は重要であるが、日本全体で見ても人口減少が問題となっていることから、自治体間で人口の取り合いではなく、「交流人口」を増やす、いわゆる松伏町に訪れる人を増やす取組みも必要となってくると考えている。</p> <p>それを踏まえると、資料2の1ページにある「松伏ふるさとカレー事業」については、実績も確実に伸びてきており、「カレーの町松伏」が定着していくように感じている。松伏町の「ファン層」が増えていき、商工業の活性化へと繋がることを期待したい。</p> <p>この「松伏ふるさとカレー事業」について説明をいただきたい。</p>
事務局	この事業は、国内初の純国産カレー粉の製造に成功し、日本にカレーやスパイスを普及させたエスビー食品(株)の創業者の山崎氏のふるさとという地域資源を活かして、町内事業者の活性化を推進し、町内外に事業をPRする事業となっている。

	<p>K P Iは現在行っている「松伏ふるさとカレースタンプラリー」に対して協力・登録していただく店舗数を令和元年時点11店舗から令和6年度末までに21店舗まで増加させることとしており、令和4年度も2件増加した18店舗と増加傾向となっている。</p>
委員	<p>資料2の表全体をとおして、「子育て支援」、「住宅支援」などの様々な事業が掲げられているが、「町が活性化する」という意味合いの「福祉」や「介護」などの高齢者に対する取組みは掲げていないように感じる。掲げているのであれば、代表する事業を教えてください。</p>
事務局	<p>資料2の3ページに記載の「バーベキュー広場整備事業」や「音楽による多世代交流事業」、「スポーツ教室実施事業」などについては、「町や人がつながる魅力づくり」を基本目標に掲げ、「多世代交流の推進」を施策としており、「高齢者」を含んでいる事業であるとしている。</p> <p>また、資料2の5ページに記載の「地域がつながる相乗り事業」は「買い物支援事業」として、買い物に不便をきたしている地域の方に対して、町内スーパーへの送迎支援を行う事業となる。直接的に「高齢者」を対象とは記載していないが、不便をきたしている地域の方の中には、高齢者の方も含んでいるものとしている。</p>
委員	<p>事務局から紹介のあった「バーベキュー広場整備事業」や「音楽による多世代交流事業」などについては、現在までコロナの影響により、ほとんどが中止となっているが、いきいき福祉課が行っている活動のうち「ご近所体操」や「音楽健康クラブ」などは現在まで中止になることなく実施できており、令和4年度多くの参加者があった。</p> <p>これらの取組により高齢者の健康が維持できている部分があるかと思っている。中止となっている事業があるのであれば、現在稼働している事業や取組をまち・ひと・しごと創生総合戦略の事業の一つとして変更して掲げることはできないのか。</p> <p>また、カレーの推進事業についても良いと思うが、本当に松伏町の町民が活用・参加しているのかを踏まえて、再度変更することを検討していただきたい。</p>
事務局	<p>現在、第2期松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業としてK P Iを定め、各所管課とともに進捗管理をしながら、進行しているため、この質疑で変更すると回答できないが、令和4年度第1回会議で町長からまち・ひと・しごと創生総合戦略審議会に対して諮問をしたとおり、第6次総合振興計画の策定に合わせて、次期まち・ひと・しごと創生総合戦略を新たに策定し、統合するため、次回以降の審議会で改めて意見を頂戴したい。</p>
議題2 その他	
事務局	<p>(参考資料に基づいて事務局から説明。)</p> <p>(1) 参考資料2 デジタル田園都市国家構想基本方針の全体像を用いて説明を行う。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「国のまち・ひと・しごと創生総合戦略」を改訂し、新たに「デジタル田園都市 国家構想 総合戦略」を策定する旨の記載がある。今年度中に国が策定し、令和5年4月1日から新たにスタートする予定である。</li> <li>・これに合わせて、地方版の総合戦略（つまり松伏町の総合戦略）についても適宜、改訂を行う必要があるものと記載がある。</li> <li>・現在のところ、内閣府からの詳細な情報提供はない状況だが、令和6年度を始期とする総合振興計画との統合を控える、次期松伏町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について、大きく影響を受けることが想定されるため、適宜情報収集を行い、今後の審議会にて報告をしていきたい。</li> </ul>
会長	・事務局より説明があったが、意見・質問はあるか。
全委員	・質問なし
閉会	